



「世界史A」から「歴史総合」へ 一大項目「B 近代化と私たち」の試行

愛知県立安城高等学校 神谷 晴香 (かみや・はるか)
愛知県立岡崎高等学校 磯谷 正行 (いそがい・まさゆき) 前愛知県立安城高等学校

—使用教材—
『明解 世界史A』
『明解 歴史総合』



1 はじめに

本報告は、令和2～3年度に愛知県立安城高等学校の生活文化科2年生に置かれている「世界史A」に、令和4年度からの新必修科目「歴史総合」の趣旨や日本史的項目を取り入れて「歴史総合」風にアレンジした実践をもとにしている。日本史を得意とする神谷が日本史的な授業の、世界史を得意とする磯谷が世界史的な授業のワークシートの原案をつくり、それぞれ日本史・世界史の視点からたがいに疑問点を出しあい、生徒が学びやすいよう改善していった。

2 年間授業計画と 授業ワークシートの作成と工夫

(1) 年間授業計画の作成

年度初めに、『明解 世界史A』（以下、教科書）の目次と新学習指導要領の「歴史総合」の小項目とをすり合わせ、教科書1部2章「一体化に向かう世界」から授業を始めることとした。生徒が理解しやすいように、中項目内での「世界」と「日本」の舞台の移動を少なくし、また、1時間ごとに中心となるモノ教材を取り入れ印象深かった。また、国民国家の形成の単元では、アメリカ、フランス、ドイツ・イタリア、日本にしばり、特徴がわかりやすいようにした。表は、「歴史総合」の大項目「B 近代化と私たち」における授業の

問いをまとめた授業計画で、本校で令和2～3年度に行った「世界史A」の授業計画の全体は帝国書院ウェブサイト参照されたい（本誌p.19 QRコード参照）。

(2) 1時間ごとの授業ワークシートの作成 (図1)

生徒が「主体的・対話的で深い学び」ができるよう、1時間に1枚のワークシートを用意した。ワークシートの冒頭に【問い】を(1)、前半(2/3程度)で基礎事項の確認を(2)、後半(1/3程度)で【資料】を使って個人やグループで考察・表現活動を行い(3)、最後に3行で【本時のまとめ】を記述するようにした(4)。なお、ワークシート作成時には以下の点に留意した。
【問い】教材研究の進展や生徒の実態(学習状況や興味・関心)を考えるなかでいく度も「問い」を手直した。この1時間の授業で何を考えさせたいのか。生徒への問いかけ方を変えることで、取りあげる資料が変わり、生徒が働かせる「見方・考え方」が変わり、「歴史的思考力」の質が変わってくる。換言すれば、「問い」があることで、

表 令和2～3年度 愛知県立安城高等学校「世界史A」の授業計画（「近代化と私たち」の部分）

時	中項目	小項目	授業のタイトル	授業の問い	授業内の小さな問い		
1			歴史と私たち、歴史の特質と資料	なぜ、同じ事実なのに評価が分かれるのか	歴史はどんなときに役にたつのか。資料を用いて自分の中学時代を説明せよ。		
2	近代化への問い		「近代化」とは何か	近代は人々の生活をよくしたか	資料①～③から3つ選び、近代とはどのような時代か考察せよ。		
3	結び付く世界と日本の開国（18・19世紀の経済）	18世紀のアジアの経済と社会	ヨーロッパによる「世界の一体化」の始まり	「コロンブスの交換」はどちらが得をしたのか	コロンブスはなぜインドへ行こうとしたのか。大西洋三角貿易が3地域に与えた影響は何か。		
4			西欧のアジア貿易（16-18世紀）	アジアの物産はなぜ西欧を魅了したのか	前時の内容をふまえて、18世紀のアメリカ・アフリカ・西欧・アジアの交易を略図に入れ説明せよ。		
5			18世紀清の盛世と東アジアの交易	ナマコやツバメの巣は誰が食べたのか	地図3枚とフカヒレ、ツバメの巣の語句を用いて、東アジアの交易関係を説明せよ。		
6			江戸時代の管理貿易と国内経済	「水戸黄門」の人気の秘密は各地の特産物にあった	資料から、江戸時代の特産物を分類せよ。江戸時代の国内政治と特産物の発展を関連づけて考えよ。		
7			イギリス産業革命と世界経済の成立	イギリスの産業革命は世界経済や社会をどう変えたのか	都市化率と乳児死亡率のグラフを読み取り、産業革命は人々を幸せにしたか考えよ。		
8			イギリスの自由貿易主義	「大英帝国」の強さはどこにあるのか	なぜフォッグ氏は『80日間世界一周』が可能だったのか。		
9			中国の開港、日本の開国	「西欧の衝撃」に中国と日本はどう対応したのか	中国の開港と日本の開国の共通点・相違点は何か。		
10			日本の産業革命（19世紀末まで）	産業革命で人々は幸せになったのだろうか、『あゝ野麦峠』で考える	工女の生活や思いに関する資料を読み、産業革命は人々を幸せにしたのか考えよ。		
11			国民国家と明治維新（19世紀の政治）	立憲体制と国民国家の形成	国民国家とは。国籍、民族、国民、国民文化	なぜ各国は「国民国家」づくりをめざしたのか	外国に負けない国民国家をつくるための政策を考えよ。国民国家の問題は何か。
12					アメリカ独立革命、南北戦争と国民統合	フレンドリーでポジティブ、自己主張の強いアメリカ人が多いのはなぜか	「自由の女神」と台座の言葉は、アメリカという国のどういう側面を表しているか。
13	フランス革命とフランス国民統合	自由と平等を愛し、議論好きなフランス人はどのようにして生まれたのか			19世紀を通じてフランスは、どのように「国民国家」化したのか。		
14	イタリア王国とドイツ帝国の成立と国民統合	明治維新のころ、中欧にドイツ帝国とイタリア王国ができた			ドイツとイタリアの国民国家形成は、アメリカやフランスとどう違うのか。		
15	明治維新と中央集権国家の形成	明治政府はなぜ江戸幕府の制度を変えなければならなかったのか			明治天皇の服装はどのように変化したか。それはなぜか。		
16	自由民権運動と大日本帝国憲法	あなたならどんな憲法をつくるか			大日本帝国憲法の特徴は何か。日本国民はなぜ憲法を必要としたのか。		
17	日清・日露戦争と中国、朝鮮	日本が植民地をもつようになったことは、周辺国にどのような影響を与えることになったのか			ピゴーなどの4つの風刺画から、日本の帝国主義がどうみられていたか考えよ。		
18	列強の進出と植民地の形成（～20世紀初頭）	列強はどのように世界分割し、植民地社会はどう変容したか			セシル・ローズの言葉や風刺画、写真から、帝国主義は世界をどう変えたのか考えよ。		
19～22	近代化と現代的な諸課題		（令和3年度の実践） 「東京オリンピック2020」にみられる「近代化」の課題	「近代化の歴史」の中で生まれた課題は、東京オリンピックでは解決されているか	「制限と自由」「統合と分化（国民と国籍）」の観点から東京オリンピックの中で表面化した課題を近代化の歴史との関連で調べ、発表せよ。		

生徒は学びの方向性をつかむことができるとともに、教員にとっても教材精選の指針となる。令和2年度に作成した年間授業53時間分の「問い」を分類すると下記表のようになる。

「どのようになったか」（過程・比較）	25回	例：イギリスの産業革命は世界経済や社会をどう変えたのか
「なぜ、そうなったのか」（原因追究）	16回	例：なぜ各国は「国民国家」づくりをめざしたのか
「どちらがいいのか」（選択）	9回	例：「コロンブスの交換」はどちらが得をしたのか
キャッチコピー風の結論	3回	例：「水戸黄門」の人気の秘密は各地の特産物にあった

【資料】生徒が「自分事」と考えたり、グループで話したりしやすい資料を入れるようにした。

- 当時の状況が想像できる文字資料…日本の産業革命時代の労働者の姿を具体的に記述したルポルタージュ『あゝ野麦峠』から抜粋した文章や統計など
- 風刺画や絵画資料…ピゴーの風刺画などの読み取り

以上のように、ワークシートの作成を中心とした授業の構成とねらいは次のようにまとめられる。

生徒の実態 ⇄ 【問い】 ⇄ 【資料】 ⇄ 【見方・考え方や思考内容】

【本時のまとめ】本時の「問い」に対する答えを3行で書かせた。生徒にとって、本時の学習内容を自分の言葉で短くまとめる自己評価の場である。定期的にワークシートを回収し、形成的評価の場ともしている。

授業方法として、【問い】や【資料】についてまず個人で考えさせ、ついでグループで考察・表現させる手法をとることで、生徒の思考の深まりとともに、自信をもって自らの考えを発表できるようになっていく変化をみてとることができた。生徒の主体的・対話的で深い学びを実現するうえで効果的な方法と考えている。

「近代化」とは何か 近代は人々の生活をよくしたのか 授業の「問い」

1 「近代社会」とはどのような社会か。
別のプリントから重要だと思う資料を3つ程度使用して、生活や社会はどう変化したのか、100字程度で説明してください。(イメージとしては、江戸時代から明治時代への変化)
(1) 取り上げたい資料(①)(②)(③)
近代社会とは、～という時代である。

近代社会とは、人の身分差がなくなり、教育を受けることが義務に。それによって個別授業から一斉授業に教育環境が変化していた。初期のころは就学率が低く男女の差があったが、近代化が進むにつれて男女差はなくなり、就学率をほぼ100%に近づけるようになった。

(2) なぜ「近代化」は起こったのでしょうか。前近代社会を近代社会に変えた「力」は何だと思えますか。50字程度で書きなさい。(「～が、伝統社会(前近代社会)を近代社会に変えた。)

人々の現状を不満に思い新たに日本を創りたいという思いが前近代社会を近代社会に変えた。

2 隣の子やグループ内で自分の考えを説明してください。

3 みんなの説明を聞いてもう一度「近代とはどういう時代か。また、近代は人々の生活をよくしたのか」を各自でまとめてください。

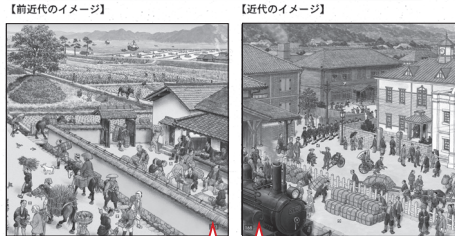
海外からの洋風を着るなどの変化が日本に伝わり、そこから日本も技術を取り入れ変化した。また、日本が人の前に立って日本を変えようとする人たちが増え、積極的にリードしていた。仕事に対する考え方や人に対する考え方が大幅に変化したことで、結果的に日本全体が変化した。近代は人々の生活に便利にし、まてすい世のすにいた。

4 資料を見たり読んだりして、疑問に思ったり、興味を持って調べたいと思ったことを2つ程度「問い」にしてみよう。例：教育の普及は、人々の意識にどのような影響を与えたのか。

海外から伝わってきたもののおかげで、日本の生活に大きな変化が起きている。
女性の就学率が上がったことで、全体的にどのような変化が起きているのか。

(2) 「近代化」とは AがBに変わる

領域	伝統的形態 (A)	近代的形態 (B)
技術・経済	①技術 人力や畜力	機械の力、蒸気機関の力
	②経済 a. 第一次産業 b. 自給自足経済	第二次・第三次産業 市場的交換経済(資本主義経済)
政治	③法 身分制	個人の人権、法の下の平等
	④政治 王政、貴族政治	議会制民主主義
社会	⑤社会集団 家父長を中心とした大家族、機能的未分化	核家族 目的を明確にした組織
	⑥地域社会 村落共同体	近代都市
	⑦社会階層 a. 家内教育 b. 身分、階層	公教育 職業の自由
文化	⑧知識・価値観 目上の者に従う	合理主義、個人主義



前近代・近代のイメージ画

『近代化』とは何か ワークシート付属の【資料編】に掲載する資料例

- 政治体制の変化(模式図)
- 四民平等(風刺画)
- 学問のすすめ(文字資料)
- 民撰議員設立建白書(文字資料)
- 貿易額の急増(グラフ)
- 日本の海外航路(地図)
- 各国の鉄道開通距離(グラフ)
- 産業革命の流れ(年表・グラフ)
- 工場労働者の増加・繊維工場の従業員(グラフ)
- 製糸工場の回想(文字資料)
- 小学校の授業のようす(絵画)
- 義務教育における就学率と進学率(グラフ)
- 世界に移り住んだ日本人(地図)
- ブラジルへの移民を呼びかけるポスター(絵画)

図2 授業ワークシートと資料

13 「近代化への問い」の実践

第2時限(『明解 歴史総合』p.13~19に該当)

(1) ねらい

「近代化」にかかわる諸資料を読み取ることで、「近代化」学習に対する興味・関心を高める。

(2) 授業展開 (図2)

- 「近代とはどういう時代か」、ワークシートに掲載した資料から3点選び、その特徴を100字でまとめる。
- 「近代化を進めた『力』は何だったのか」、個人で考え、続いてグループで考える。
- 「近代は人々の生活をよくしたのか」をまとめる。
- 資料から疑問に思ったり興味をもったりしたことを【問い】にしてみる。

(3) 考察

生徒は、「近代とは何か」など一つの時代を大観する学習の経験がなく、新鮮だったようだ。

「近代化を進めた『力』は何だったのか」を考える問いに対しては、「世界との技術力の差を縮めたいから」「戦争で勝てる国になりたかったから」「教育の力が伝統社会を変えた」「不平等な社会を改めたいから」などの意見が出された。

最後の問いを表現する学習では、「四民平等で本当に平等になったのか」「義務教育の就学率が、男子より女子のほうが低いのはなぜか」「1894年からの輸出入の増加は、日清戦争と関係があるのか」「世界に渡った人々は幸せだったのか」などの「問い」をつくり、単元の学習に入った。なお、生徒のつくった「問い」はまとめて

プリントにして配布し、適宜、授業の冒頭で紹介するようにしている。

14 「近代化と現代的な諸課題」の授業実践

第19~22時限(『明解 歴史総合』p.83~84に該当)

—「東京オリンピック2020にある『近代化』の課題」をテーマにして—

(1) ねらい

大項目「B 近代化と私たち」のまとめとして、近代化の歴史の中に存在した課題が、現代においてどうなっているか(どのように解決されたか、あるいは解決されていないのか)を、生徒が自ら調べ、考察し、表現することで、近代化の歴史理解のまとめとする。

考える場面として、「東京オリンピック2020」を取りあげ、「近代化の過程における課題」を「差別や制限に対して自由や平等を求める動き」と「国籍という形で表面化する国民国家における統合と分化の問題」ととらえ、それらがどのように解決/未解決なのかを、調べ、発表する授業を構想した。その学習を通じて、「近代化の過程で生じた課題」と現代における課題とのつながりを深く理解させようとした。以上を図示すると次のようになる。



(2) 授業展開 (4時間配当)

【第1時限】近代化の中の課題と現代の課題に対する理解 (図3)

- 「近代化の歴史展開の中の課題」を復習する。「差別・制限と自由・平等」「統合と分化」の例をあげる。
- 「東京オリンピック2020」にみられる「現代の中にある課題」を説明する。

東京オリンピックにある「近代化の歴史」の課題

「近代化の歴史」の中で生まれた課題は、東京オリンピックでは解決されているか

- 0 「近代化の歴史」…産業革命や市民革命以後の、主に19世紀の世界や日本の歴史 (ワークシート No. 7~17)
- 1 「近代化の歴史」で「達成されたこと」と今に続く「課題」
- (1) 身分制度はなくなり、男性市民が政治や経済の主体となる「自由」や「平等」の実現
 ←女性や貧しい人の「不平等」
 例: No.7 自由主義, No.8 世界一周, No.11 アメリカ独立, No.12 フランス人権宣言, No.14 四民平等, No.7 イギリス産業革命中の女性, No.10 製茶工場での女性
- (2) 戦争に強い、同一文化を共有する「国民」を構成員とする「国民国家」の形成
 ←国内少数民族や植民地への「差別」
 例: No.11 インディアン強制移住, アメリカ黒人奴隷, No.13 ロシアの社会主義者 階級, No.17 植民地支配
- 2 東京2020オリンピックの理念(オリンピック憲章より)
 「選手は、人種、宗教、性別、性的志向、政治的意見、出身国などで差別されない」
- 3 東京オリンピックで現れた「達成」と「課題」
 以下のテーマに関する具体例を挙げ、「今後スポーツや国際社会はどうか」といふか、説明しなさい。
- ① 「差別」や「制限」に対して「自由」や「平等(差別解消)」を求める動き
- ② 厳格な「国民国家」(一民族一国家)に対してゆるやかな「国家」(多様な出自を持つ人で構成された国家)を目指したり求めたりする動き

図3 授業ワークシート (一部)



写真 グループ内発表のようす

【第2～3時限】個人による調べ学習と、その成果をまとめたポスター作品の制作 (A3判1枚)

【第4時限】グループ内での発表と代表者によるクラスでの発表 (写真)。現代社会に存在する課題からみた近代化の課題の確認。

(3) 考察

生徒は、LGBTQの視点や、女性差別、黒人差別に関する人物やできごとを多く取りあげていた。また、「日本代表」の多様化、多様な文化ルーツをもつ「日本人選手」、国籍を変更する選手や難民選手団など、国民国家という枠組みと国籍のあり方を取りあげた生徒も多かった。そのうえで、理想的なオリンピックの姿として「男女混合競技を増やしたらどうか」とか「オリンピックとパラリンピックの注目度の差を解消する政策が必要だ」といった将来へ向けて差別・制限の縮小・解消を求める発表もあった。また、「『多様性と調和』がコンセプトだったにもかかわらず開催国の日本が同性婚を認めていないのはどうか」、「多様性がオリンピックの中だけでなく日常生活の中でも認められていくとよい」など自分の生活

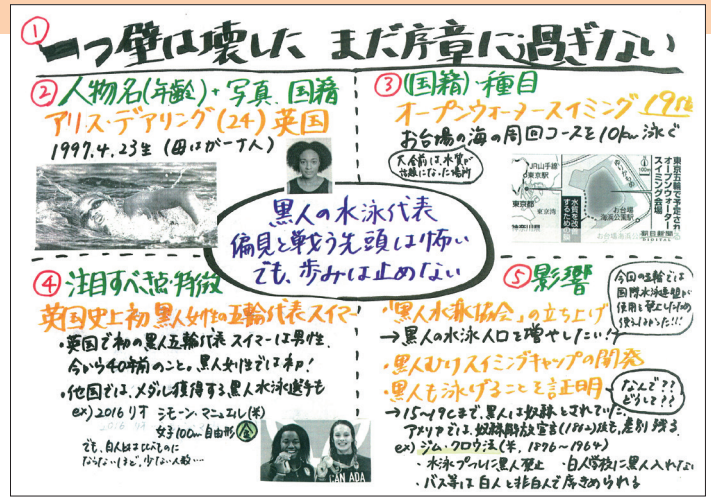


図4 生徒の作品例

をみる視点に転化させた生徒もいた。

生徒の作品例として、「近代オリンピックはそもそも女性差別から始まった」、「1968年のブラックパワー・サリュートに共感した白豪主義国のアスリート」、「黒人女性水泳選手と黒人差別の歴史」、「女性アスリートの産休・育休の権利をスポンサーに認めさせた選手」といった差別の歴史や女性労働の歴史につなげたものもある (図4)。「近代の課題」や「私自身」と結びつけて「東京オリンピック2020」を考察した例といえる。

5 成果と課題

「問い」と「資料」と「3行のまとめ」で授業ワークシートを構成することで、生徒は個人で考え、グループで協議しながら「主体的・対話的で深い学び」に近づくことができた。また、「近代化と現代的な諸課題」については、生徒の興味・関心を生かし、現代の事象の中に存在する課題から「近代化の課題」にさかのぼって考察を往還させる手法も有効であることがわかった。

今回の実践は、1時間ごとのワークシート作成 (【問い】と【資料】の配置) を重視したが、今後は、数時間の授業をまとまりとした単元での「問い」と「資料」の配置を重視し、「単元のまとめ」として論述問題を課し、歴史的思考力を高めることの可能性も探りたい。

(参考文献)

- 磯谷正行 (2020) 「『モノ』の生産・流通・消費の追究が『歴史』を可視化する」『社会科教育』(明治図書) 737号
- 神谷晴香 (2021) 「問いと資料で組み立てる新科目『歴史総合』の試み」愛知県世界史教育研究会『世界史教育研究』第7号
- 神谷晴香・磯谷正行 (2021) 「新科目『歴史総合』への移行を見据えた『世界史A』の取組—問いと資料を使った主体的・対話的で深い学びを目指して—」令和3年度高等学校各教科等教育課程研究協議会 (文部科学省主催) 説明資料

年間授業計画
 はこちら

